

第1次計画の成果と課題

■成果 家庭・地域・学校等における65の取組を実施

《主な取組》

- 小・中・義務教育学校へ「家読（うちどく）100冊セット」を配置
- セカンドブック事業「らんどせるブックかすかべ」の対象拡大
- 「学校リストランテ」、「ぬいぐるみおはなし会」等の新規取組の実施
- 中学生による「おすすめ本POP」の図書館掲示

■課題 「読書が好き」子どもの減少、「1か月に1冊も読まない」子どもの増加

▶ 新型コロナウイルス感染症対策による学校の臨時休校や図書館の臨時休館などにより、図書へのアクセスがしにくい状況が子どもの読書活動へ影響を与えた可能性が国の第5次計画でも指摘されています。

- 読書が好きな子どもの割合 ※数値はR4実績値(H29基準値)

小2	85.5%(89.3%)	小5	80.5%(84.5%)	中2	73.6%(75.8%)
----	--------------	----	--------------	----	--------------

- 1か月に読んだ本が「0冊」の子どもの割合(不読率)

小2	5.7%(3.9%)	小5	13.5%(7.8%)	中2	19.5%(17.5%)
----	------------	----	-------------	----	--------------

第2次計画の取組

■ 計画の進捗管理

《数値目標》 ※数値はR4実績値（R10目標値）

- ① 家読（うちどく）プロジェクト参加人数 127人(280人)
- ② 図書館の児童書貸出冊数 311,542冊(330,000冊)
- ③ 子ども向けおはなし会参加人数 1,092人(1,800人)
- ④ 図書標準達成校数 31校(34校)

《成果指標》

- ① 読書が好きな子どもの割合

小2	85.5%(90.0%)	小5	80.5%(85.0%)	中2	73.6%(76.0%)
----	--------------	----	--------------	----	--------------

- ② 1か月に読んだ本が「0冊」の子どもの割合(不読率)

小2	5.7%(4.0%)	小5	13.5%(8.0%)	中2	19.5%(17.5%)
----	------------	----	-------------	----	--------------

■基本理念 全ての子どもに読書の楽しみを

■基本方針 紙と電子のハイブリッド読書

【施策1】 家庭における読書活動推進 - 10の取組(うち新規1)

《主な取組》

- 家庭で読書に親しむ習慣づくりのための働きかけを行います。
 - ◇ 【新規】 家族で同じ本を読書するなどの「リレーうちどく」推進
 - 【拡充】 家読(うちどく)おすすめリストや読書記録用紙の配布

【施策2】 地域における読書活動推進 - 46の取組(うち新規10)

《主な取組》

- デジタル社会に対応した読書環境を整備するとともに、GIGA スクール構想の実現による1人1台端末を活用して、読書の時間などで電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」の利用推進に努めます。
 - 【拡充】 子ども向け電子書籍の拡充
 - ◇ 【新規】 「かすかべ電子図書館」学校用のIDパスワードの発行
 - ◇ 【新規】 小・中・義務教育学校新入生への「かすかべ電子図書館」利用登録
- 障がいのある子どもや母語が日本語以外の子どもが読書を楽しめるよう、一人ひとりの多様性に応じた読書機会を確保します。
 - ◇ 【新規】 DAISY 図書など多様性に応じたブックリストのHP公開
 - ◇ 【新規】 ピクトグラムなどを使った図書館利用案内の配付

【施策3】 学校等における読書活動推進 - 23の取組(うち新規2)

《主な取組》

- 司書職員が中学校・義務教育学校(後期課程)の学校図書館を支援する体制を活用し、読書に親しむ機会の充実や読書による学ぶ力の育成を支援します。
 - ◇ 【新規】 情報活用学習を支援するための資料作成
 - 【拡充】 ビブリオバトルやPOP作成など、生徒の多様な読書活動の支援